

あいさつ運動の好事例

岡山県立倉敷まきび支援学校

(児童生徒数 325名 教職員数 164名)

朝は素敵な笑顔と素敵なあいさつ！

～ 学部・学年を越えた取り組み ～

アピールポイント

全校の児童生徒が通る玄関の前であいさつ運動をすることで、部門・学部・学年を越えて、あいさつをすることができる。

あいさつ運動をしている生徒は「あいさつ運動」のタスキを付けて参加している。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

本校は知的障害部門と肢体不自由部門が設置されている特別支援学校で、児童生徒325名が在籍している。学部も小学部・中学部・高等部があり幅広い年齢の児童生徒が自立と社会参加を目指して学習活動を行っている。

■活動内容

早く登校した生徒が、朝の準備後、8:30～8:45の間、登校時の児童生徒にあいさつ運動を自主的に行っている。

■取組の参加メンバー

高等部生徒会執行部、朝の準備ができた生徒の有志

■成果・効果

生徒会執行部が中心になってあいさつ運動を行っていたが、徐々に執行部以外の生徒も参加するようになってきた。また、児童生徒同士のあいさつも増え、活気ある朝を迎えることができている。